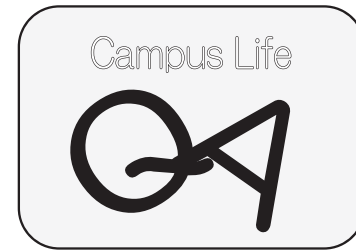


学生支援の現場から

◆ 東洋大学
 ～学生の能力を引き出すために～

田辺 陸夫
 (東洋大学 学生部次長)

現代の学生は、自分自身で判断し解決することが苦手である。苦手と言うより、むしろ解決方法が見つからないと言う方が正しいのかも知れない。その結果、学生生活における新たな目的を前に、第一歩を踏み出せないでいる学生が増えてきているように思う。



シンボルマーク
 (各部署の学生窓口に表示)

そこで、東洋大学では「学生の悩みをどうやって引き出し、どのように解決方法を導き出すか。」をテーマに、以下の事項を体制づくりの目的として、平成一七年度より

- 一 「学生総合案内 (Campus Life Q&A)」を設置した。
- 一 学生への温かい視線をもった支援
- ・ 学生から見た時の相談窓口の明確化と相談しやすい雰囲気づくりを行う。
- ・ 不安感が何からきているかを引き出す工夫と不安感を積極的な方向へ転換させる方法を見つけ出す。
- 二 教職員、各部署、各委員会等との連携強化
- ・ 相談内容が複数の部署に関係する場合の連携・調整を行う。
- ・ 教職員が学生対応に対し同じ意識を持ち、相互に協力



正面入口 (浦水の森)

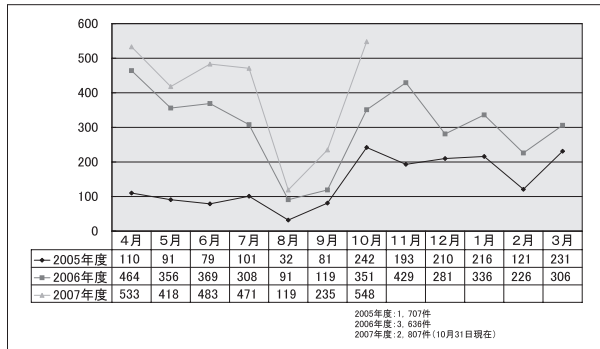


総合案内窓口

- 三 各学生相談窓口の役割の明確化
- ・ 教員が対応する相談、カウンセラーが対応する相談、事務局が対応する相談を分けることによって、各学生相談窓口の役割を明確化し、窓口対応の充実を図る。

学生総合案内は、学生と各相談窓口とのパイプ役であるとともに、学生の抱える問題解決のためのきっかけづくりの場としての機能を併せ持つものである。設置から三年目を迎えた今年度は、すでに三千件を超える相談が寄せられている。

相談内容から感じられることは、抱える問題の大小に関らず、人



総合案内利用者推移

とのコミュニケーションが不得手で、一人で悩み、解決策を見出せず、大学での学生生活に消極的になってしまいうケースや膨大な情報にあふれた現実社会の中で、情報を取捨選択することができず方向性を見出せない学生が多いことである。

学生が総合案内を利用する意義は、多くの情報の中で、自分が必要としているものは何かを理解し、自分の抱える問題に対応し解決するためのヒントを導き出すことにある。したがって総合案内の役割は、学生へ解決方法を手取り足取り教えるのではなく、学生自らが次のステップへ進めるように、うまく背中を押すための支援方法にあると思う。

大切なことは、埋もれてしまっている学生の能力(潜在能力)を引き出すための工夫であり、大学卒業後、社会を生き抜いていくための基盤づくりには他ならない。



インフォメーションボード